

バルク乳の 体細胞数、細菌数 から わかる 乳質改善 ～ もう一度 見てみませんか？ ～

月2回の検査で、体細胞数と細菌数のデータが出ます。このデータから農場の衛生的な状況が、ある程度推測できます。体細胞数と細菌数をグラフにして、どのように推移するかによってタイプ分けをしてみました。タイプ1から3は乳質に問題がある農場です。その原因をグラフから推定してみました。

* タイプ1 体細胞数と細菌数の値がほぼ同時に上下しています。

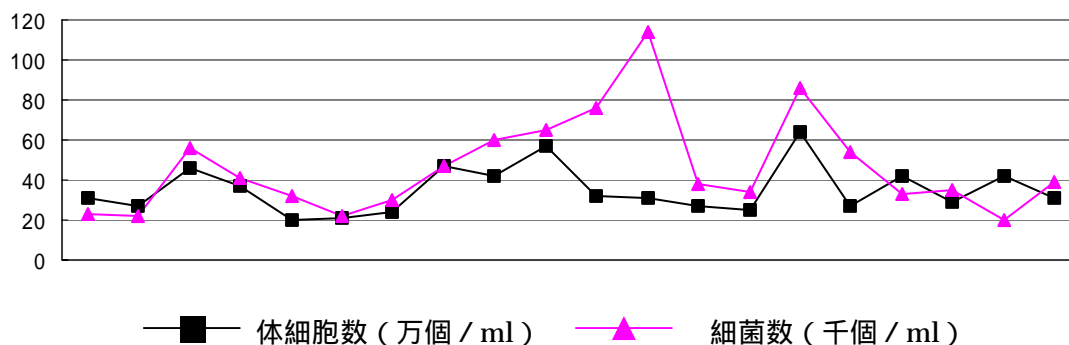
体細胞数が多い時に細菌数も多いことから、乳質低下の原因は乳房炎によるものと考えられます。

乳房炎の中には症状がはっきり出ない潜在性乳房炎があります。

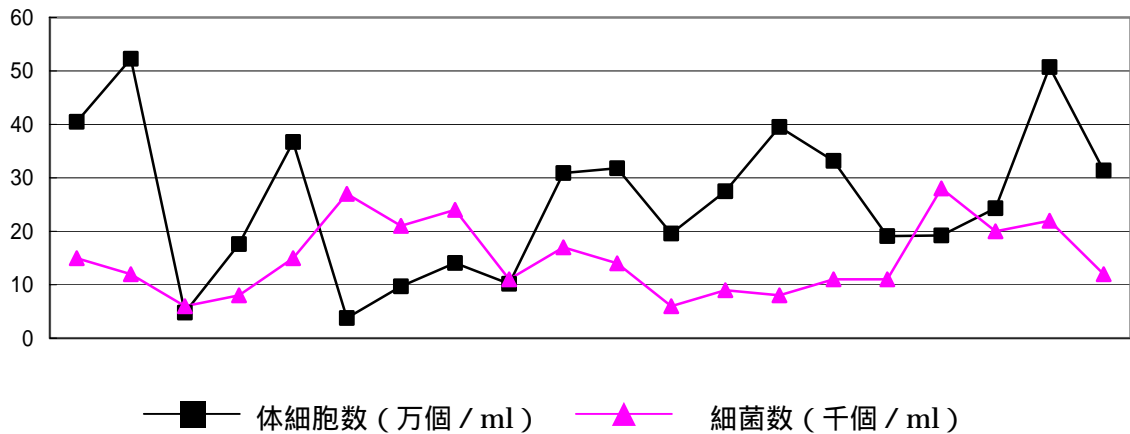
< 乳房炎牛の見つけ方 >

牛群検定の成績から体細胞数の多い牛をチェックします。

PL テスターで確認します。



- * **タイプ2** 体細胞数と細菌数が時々多くなりますが、同時ではありません。
体細胞数だけ多い時には、過搾乳、飼料の変敗（カビなど）が原因と考えられます。
細菌数だけが多い時には、搾乳機器の汚れが原因の可能性がありますが。洗浄・消毒の方法や回数が間違っていないかを見直す必要があります。



- * **タイプ3** 体細胞数も細菌数も常時高い値です。
体細胞数や細菌数が多くなっている原因がいろいろあると思われます。家畜保健衛生所や農協の担当者に相談して、対策をとる必要があります。
- * **タイプ4** 体細胞数も細菌数も毎回低い値です。
問題は、ありません。

以上のことはあくまでも目安ですが、乳質改善を考える時に参考になると思います。
あなたのバルク乳はどのタイプでしょうか。
改善が必要だけれど、何をしたら良いかわからない、という方へ
家畜保健衛生所に連絡ください。力になりますよ。